

耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

1 担当教員名

- 【研究指導教授】 教授 藤本保志
【科目担当者】 教授(特任) 小川徹也

2 教育目標

(1) ねらい

学生は、耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域において、それぞれの構造、機能、病態について先端的な研究を行うことを通じてリサーチマインドを養い、将来の研究の基礎学力と臨床能力を身につける。

(2) 学修の到達目標

- ① 学生は耳鼻咽喉科頭頸部外科領域において、その構造と機能を説明できる。
- ② 学生は耳鼻咽喉科頭頸部外科領域において、標準治療の意義と臨床上の問題点を理解できる。
- ③ 学生は耳鼻咽喉科頭頸部外科領域において、新知見を表現し、公表する能力を得る。

3 授業内容

【講義】	頭頸部癌概論，嚥下障害学（評価法・訓練法），臨床耳科学について，臨床上必要とされるが未解明なことは何かを考察する。同時に倫理的手続きについても講義する。
【演習】	嚥下機能評価法実習，頭頸部シミュレーション手術，疫学的手法，分子生物学的研究を中心に研究計画作成や研究結果の実証方法について学ぶ。
【実験研究】	嚥下筋に対するサルコペニアの影響，頭頸部癌の分子生物学，耳科の臨床疫学などから選択した分野において，独創的な新規研究を行い，その成果を国内外に発信する。

4 成績評価の方法・基準

- ① 各授業内容後のレポート提出および面接・口頭試問による評価
 - ② 投稿論文による評価
- 上記2つを合わせて評価する。

5 教科書・参考図書

頭頸部癌診療ガイドライン2022年版 金原出版，2022
疾患別に診る嚥下障害 藤島一郎監修 医歯薬出版 2020
Pathology of the ear. Harold F. Schuknecht. Lea & Febiger Philadelphia 1993

6 準備学習(予習, 復習等)及び必要な時間

事前に参考図書, 論文などに目を通しておく。(1週間に5時間程度の予習・復習が望ましい)

7 課程修了・学位授与方針と当該授業科目の関連

耳鼻咽喉科に関する論文作成を通して, 耳鼻咽喉科分野での高度な専門知識と論理的思考を伴う研究実践力があることを確認し, 学位授与方針とする。

8 課題(試験・レポート等)に対するフィードバック方法

レポートは, 評価後返却されるが, 内容に不足・誤りがある場合は再提出を求めることがある。

面接・口頭試問時に, 適切な解答をフィードバックする。

投稿論文を審査し, 適切な方向性を明確にする。

9 履修上の留意点

決められたカリキュラムの実行を怠らないこと。

10 オフィスアワー

職名	氏名	曜日	時間帯	場所	連絡先
教授	藤本保志	月	16:00~18:00	C棟8階教授室	内線 22283
		水	19:00~20:00		
		金	16:00~18:00		
教授(特任)	小川徹也	火	16:00~16:30	C棟 11 階医局	内線 22173